

## 短気な自分を変えたい？ じゃあ弥勒山に行こう！

島根県 湊 奈津希さん(29歳) 澤田 拓也さん(23歳)

人は変われる！

**湊** 以前から拓也が短気な自分を変えた  
いって言っていたので、母と一緒に「先祖  
供養の教えだよ。自分を変えられるから一  
緒にお経をあげよう」と話しました。どう  
思われるかなって心配だったけど、彼はひ  
と言、「やってみると」と。



**澤田** ちょっと今までの俺は、すぐにカッ

「青年の弥勒山セミナー(社会人班)」(第十一支部)に初めて参加した澤田拓也さんと、彼を誘った尊きの親・湊奈津希さん。島根県隠岐の島にある、湊さんの母親が営む居酒屋で働いている2人が弥勒山に参加するまでの気持ちや、弥勒山で得たことなど、話を聞いた。

となるタイプで、奈津希ともしょつちゅうケンカ。いつか結婚して家庭をもちたいのに、このままじやいけないよなって思つて



いつも湊さんを励まし支えている母親(後列右から3番目)と、湊さんのご家族

も弥勒山で元気をもらつてきたよなつて思ひ出して……。彼にも同じ思いを味わつてほしいつて思いました。

ちょうどその頃、鳥取に住む会員から「主との関係に悩んでる」って相談されていました。彼女に幸せになつてほしくて、「お経をあげよう」と何度も聞いてくれない。心配して言つてるのに、何で分かつてくれないんだろうつてモヤモヤしていました。どうしたらいいか弥勒山でヒントをもらうためにも、拓也と2人で弥勒山に参加することに決めました。

## 母の姿こそ、私のお手本

**澤田** 隠岐の島から飛行機と新幹線を乗り継いで、やつとのことで弥勒山にたどり着

いたんです。正直、最初は半信半疑だつたんですけど、入会して実際に経をあげてみると、不思議とイララが治まつたんですよ。俺、何で怒つてたのかなつてとなつたら、一旦部屋を出て冷静になろうと考えられるようになりました。

奈津希と、彼女のお母さんとの3人でつどいを開いたとき、弥勒山で行われた体験発表のDVDを観る機会がありました。自分の人生を変えた人たちの話が聞ける弥勒山つて、どんなところかな。興味が湧いてきて、奈津希に「行つてみたい」と言いました。

**湊** 実は私、10年ぐらい弥勒山に参加していなかつたんです。母に誘われても、遠いし、何となく乗り気になれずに断つていて。でも、彼が行つてみたいと言つたとき、私

**湊** 部屋が男女別だから、拓也は今頃どうしているのかなって、ずっと心配していたんです。たくさんの人とふれ合って生き生きしている姿を見たときは、嬉しくて胸がいっぱいになりました。

私自身も、たくさんのこと気に気づかされました。幼い頃から病気がちだった私を心

配して、母はお経をあげて念願してくれた

り、私を連れて弥勒山に参加してくれました。居酒屋を開いたのも、病気になつて勤

め先が見つかなかつた私の働き口をつくつるためでした。いつも私のことを一番に思つてくれていたのに、私は母に弥勒山に行こうと誘われても自分の都合だけを考え断る。「社会人としてちゃんとしなさい」という注意も聞かず、平氣でお店に遅刻する。言うことを聞いてくれない会員に腹を

## 今のほうが断然楽しい！

弥勒山で気づいたことを、地元に帰つてから行動に移している湊さんと澤田さん。地元での彼らを追つた。

**湊** 今は生活態度を改めて、私が母の店を継ぐという気持ちで日々、仕事をしています。

先日、拓也と一緒に鳥取の会員に会いに行つてきました。会うのは久しぶりでした

心強くなりました。

会員はご主人と離婚するかどうかで心が揺れています。一緒に幸せになれるよう毎月通つて、彼女に寄り添つていこうとあらためて思いました。



観光に訪れた人を元気にしよう  
2人で力を合わせて働いている

が快く迎えてくれて、3人でお経をあげ、じっくり話すことができたんです。拓也も初対面の会員とフレンドリーに話してくれました。人見知りだった彼が、今は仕事でも自分からお客さんに話しかけています。本当に変わったんだなって、嬉しくて。彼と同じように会員も前に進めるはずだと、

立っていたけど、私こそ同じ態度を母にとつていたと気づき、本当に申し訳なかつたと感じました。母の思いに応えて、社会人として自立すること。母が私にしてくれたように、会員を心から思つて関わつていいことを心に決めました。

は誰かを誘つて参加します！

『明法』2019年8月号から

2021.04 発行  
靈友会